

灯ろう流しと花火の夕べ (8月20日 富岡橋下河川敷)

明るい社会づくりの会奥久慈ブロックにより開催されているもので、地元住民の方をはじめ子どもからお年寄りまで多くの方が参加し、平和や先祖の霊供養、交通安全を祈願した灯ろうを流しました。また、花火も打ち上げられ多くの人々の目を楽しませていました。



美和ふるさとまつり (8月26日 美和運動公園)

会場の中央では、たくさんの提灯が飾られた巨大なやぐらが訪れた人々を大歓迎。ステージを中心にボウケンジャーショーをはじめ、子どもみこしなど色々な催し物が行われ、参加者は大はしゃぎ。

日が暮れると、明かりが灯されたやぐらの回りで盆踊りの輪が広がり、まつりのフィナーレには盛大に花火が打ち上げられ夏の夜空を彩りました。



あゆの里まつり

(8月19日 清流公園)

メインイベントのあゆのつかみ取りでは、開始前から子どもからお年寄りまで大集合。花火の合図と同時に夢中で水中を探っていました。

また、会場には様々な模擬店やゲームコーナーが開かれて賑わいを見せていました。

夕刻にはみこしや山車も繰り出し、花火が打ち上げられる夜までまつりの賑わいは続いていました。



思い出

ながわ水まつり

(8月14日 旧国民宿舎御前山荘前河原)

「水と親しみ、水を楽しむ」をテーマに開催されているもので、ステージショーや様々なイベントが盛り沢山に行われました。

訪れた家族連れなどは、カヌー体験教室や魚のつかみ取りなど、川面を渡るさわやかな風を浴びながら、水辺での1日を満喫していました。



御前山納涼花火大会

(8月14日 旧国民宿舎御前山荘前河原)

河原は、市内をはじめお盆で帰省していた方やキャンプ客など、打ち上げを待ちわびる人々でいっぱい。

夏の夜空に大輪の花が咲くと一斉に大きな歓声があがり、観客たちは一瞬の華やかさに暑さも忘れて魅入っていました。

みんなでつくろう

キッズランド

ダンボールハウスは

みんなの基地

(8月17日・18日)

農村環境改善センターを会場に行われ、大宮地域の小学2～6年生39人が参加し、地域のボランティアや高校生会、茨城大学の学生ボランティアなどが子どもたちをサポートしました。

1日目は、親水庵の方々の協力のもとそば打ち体験。思い思いのダンボールハウスをグループごとに作成しました。夜は、県立小瀬高校の竹本先生による星のお話や、「はみんぐはあど」の皆さんによるお話を楽しみ、作ったダンボールハウスで一夜を明かしました。

2日目は、茨城大学の学生による自然おもしろ理科実験。

参加した児童は「この2日間、色々なミッションがあり勉強になりました。

また、大学生や高校生とのふれあいもありました。

ダンボールハウスを壊すのは残念でしたが、みんなの心が一つになつて良かったです」と話していました。



夏休み 親元を離れて
ちよつぷり大人に！

ごぜんやま元氣っ子体験村

(7月31日～8月4日)

御前山地域・美和地域・緒川地域の小学4～6年生41人の参加のもと、御前山青少年旅行村を会場に実施されました。

期間中は御前山地域のボランティアの方々の協力により、昔遊びをはじめキャンプファイヤーやカヌーによる那珂川下りなど様々な体験活動を行い、参加者は充実した時を過ごしました。

